

■これまでの「アジア太平洋研究賞」受賞者とその論文タイトル

◇第1回

みいち けん
見市 建 (2002年博士 (政治学)・神戸大学)

「インドネシアにおけるイスラーム左派：その知識人ネットワークとイデオロギー」

ちん てんじ
陳 天璽 (2000年博士 (国際政治経済学)・筑波大学)

「華商のネットワークとアイデンティティ」

◇第2回

あおやま わか
青山 和佳 (2002年博士 (経済学)・東京大学)

「ダバオ市におけるバジャウの都市経済適応過程—経済的生活水準とエスニック・アイデンティティの観点から—」

すがはら ゆみ
菅原 由美 (2002年博士 (学術)・東京外国語大学)

「19世紀中部ジャワ宗教運動研究—アフマッド・リファイ運動をめぐる言説—」

ばお むびん
包 慕萍 (2003年博士 (工学)・東京大学)

「モンゴル地域フフホトにおける都市と建築に関する歴史的研究 (1723年-1959年) —周辺建築文化圏における異文化受容—」

【佳作】

いしかわ りょうた
石川 亮太 (2003年博士 (文学)・大阪大学)

「近代朝鮮をめぐる国際流通の形成課程—アジア域内市場の中の朝鮮植民地化—」

とう おうぶん
鄧 応文 (2002年博士 (学術)・東京外国語大学)

「1990年代における中越経済関係—国境貿易を中心に—」

◇第3回

なかじま たけし
中島 岳志 (2004年博士 (地域研究)・京都大学)

「現代インドにおけるヒンドゥー・ナショナリズム運動」

ひょん でそん
玄 大松 (2004年博士 (法学)・東京大学)

「戦後韓日関係と領土問題—韓国における「独島問題」の言説とイメージ」

【佳作】

やまもと ひろゆき
山本 博之 (2003年博士 (学術)・東京大学)

「英領北ボルネオ (サバ) における民族形成」

◇第4回

いのぐち まさひろ
猪口 真大 (2004年博士(経済学)・一橋大学)

「アジア諸国の危機前後における金融政策と金融システム—途上国の有効かつ効率的な金融政策—」

【佳作】

らく くんけつ
楽 君傑 (2005年博士(経済学)・関西学院大学)

「中国東部沿海農村の労働市場に関する数量分析」

◇第5回

ひわたり まさと
樋渡 雅人 (2006年博士(学術)・東京大学)

「ウズベキスタンにおける慣習経済の機能と役割—アンディジャン州におけるマハッラの共同体像と社会的紐帯—」

【佳作】

おの りんたろう
小野 林太郎 (2006年博士(地域研究)・上智大学)

「セレベス海域における海洋資源利用と生計戦略—民族考古学的アプローチからの地域研究の試み—」

じょ そひん
徐 蘇斌 (2005年博士(工学)・東京大学)

「中国における都市・建築の近代化と日本」

◇第6回

なかにし よしひろ
中西 嘉宏 (2007年博士(地域研究)・京都大学)

「ネー・ウィン体制期ビルマにおける政軍関係(1962-1988)」

オトマズギン ニシム
Otmazgin Nissim (2007年博士(地域研究)・京都大学)

「地域化するポップ・カルチャー—日本文化産業の東・東南アジア地域展開 1988-2005」

【佳作】

えんどう たまき
遠藤 環 (2007年博士(経済学)・京都大学)

「グローバル化時代のバンコクにおける構造変化とインフォーマル経済」

◇第7回

いのうえ
井上 さゆり (2007年博士(学術)・東京外国語大学)

「ビルマ古典歌謡におけるジャンル形成—18-19世紀のウー・サの創作を中心として—」

そのだ せつこ
園田 節子 (2007年博士(学術)・東京大学)

「近代におけるヒトの国際移動の歴史研究—南北アメリカ華民と近代中国の関係構築」

◇第8回

り どんじゅん
李東俊 (2008年博士(法学)・東北大学)

「米中『和解』と朝鮮半島分断構造の変容、1969—1975年」

【佳作】

いわたに のぶ
岩谷將 (2008年博士(法学)・慶応義塾大学)

「中国国民党訓政体制の研究」

りん ちゆめい
林初梅 (2007年博士(学術)・一橋大学)

「『郷土』としての台湾—郷土教育の展開に見るアイデンティティの変容」

◇第9回

よしだ しんご
吉田真吾 (2010年博士(法学)・慶応義塾大学)

「日米同盟の制度化 1963—1978年」

やの じゆんこ
矢野順子 (2009年博士(学術)・一橋大学)

「ラオスの国民形成と言語ナショナリズム—植民地時代から社会主義革命まで(1893—1975年)—」

い へい
易平 (2009年博士(法学)・東京大学)

「戦争と平和の間—発足期日本国際法学における「正しい戦争」の概念とその帰結—」

【佳作】

ちよ ゆんす
趙胤修 (2008年博士(法学)・東北大学)

「日韓漁業交渉の国際政治—海洋秩序の脱植民地化と「国益」の調整—」

◇第10回

あさだ まさふみ
麻田雅文 (2011年博士(学術)・北海道大学)

「中東鉄道経営史—ロシアと「満洲」、1896—1935年—」

うえの まさゆき
上野雅由樹 (2010年博士(学術)・東京大学)

「タンズィマート期オスマン帝国における非ムスリムの『宗教的特権』と『政治的権利』：アルメニア共同体の事例から」

◇第11回

きむ みよんす
金明洙 (2010年博士(経済学)・慶応義塾大学)

「近代日本の朝鮮支配と朝鮮人企業家・朝鮮財界—韓相龍の企業活動と朝鮮実業倶楽部を中心に—」

◇第12回

箕曲 在弘 (2013年博士(文学)・早稲田大学)

「フェアトレードの生産者への影響をめぐる人類学的研究—ラオス南部ボラベン高原のコーヒー栽培農村の事例から—」

阿拉木斯 (2013年博士(学術)・神戸大学)

「清代内モンゴルにおける農地所有とその契約に関する研究—帰化城トゥメト旗を中心に—」

【佳作】

劉靖 (2013年博士(国際開発学)・名古屋大学)

「公立学校選択における不平等：中国都市部での「择校」に関する言語と実践」

Лайсангийн (2012年博士(社会学)・北海道大学)

「モンゴルにおけるポスト社会主義への移行と市民社会形成」

◇第13回

會田 剛史 (2014年博士(経済学)・東京大学)

“Irrigation, Community, and Poverty (灌漑、共同体、貧困)”

【佳作】

上野 俊行 (2014年博士(学術)・東京大学)

「ベトナム社会におけるバリアフリー—北京・バンコク・台北の公共交通機関のバリアフリー化と比較して—」

小林 篤史 (2014年博士(地域研究)・京都大学)

「19世紀における東南アジア域内交易の発展—シンガポールの役割を中心に—」

◇第14回

長田 紀之 (2013年博士(文学)・東京大学)

「インド人移民の都市からビルマの首都へ：植民地港湾都市ラングーンにおけるビルマ国家枠組みの生成」

【佳作】

池田 真也 (2015年博士(農学)・東北大学)

「経済発展下における伝統的青果物流通の展開—ジャワにおける大都市へ向けた野菜の集荷・卸の変容—」

李 海訓 (2015年博士(経済学)・東京大学)

「中国東北における稲作農業の展開過程」

◇第15回

里見 龍樹 (2014年博士(学術)・東京大学)

「ソロモン諸島マライタ島北部のアシ/ラウにおける「海に住まうこと」の現在：別様でありうる生の民族誌」

【佳作】

蔵本 龍介 (2013年博士(学術)・東京大学)

「世俗を生きる出家者たち：上座仏教徒社会ミャンマーにおける出家生活の民族誌」

星野 壮 (2016年博士(文学)・大正大学)

「在日ブラジル人とキリスト教についての研究」

李 暉 (2015年博士(工学)・東京大学)

『营造法式』にみる中国宋代における技術設計原理と部材加工技術」

◇第16回

【佳作】

湯川 勇人 (2017年博士(政治学)・神戸大学)

「東アジア秩序をめぐる日米関係：1930年代の外務省による東亜新秩序の模索」

◇第17回

【佳作】

金南 咲季 (2018年博士(人間科学)・大阪大学)

「多文化接触領域における共生に関する社会学的考察—外国人学校をめぐる社会的実践の変容を焦点に一」

谷口 美代子 (2017年博士(国際貢献)・東京大学)

「「自由主義的・平和構築論 (Liberal Peacebuilding)」再考—フィリピン・ミンダナオにおける紛争・暴力・平和の事例から—」

◇第18回

【佳作】

黄 潔 (2019年博士(地域研究)・京都大学)

「セン (Senl) の民俗誌—中国南部におけるトン族 (Kam) の流域社会システム論—」

朴 敬珉 (2016年博士(法学)・慶應義塾大学)

「朝鮮縁故者と日本の対韓国外交の源流—「植民地財産の数字」に収斂した認識と対応、1945-1953」

あれきさんどら ばーぼういっち
Aleksandra Babovic (2018年博士(政治学)・神戸大学)

「試される正義：極東国際軍事裁判の再評価1945-1956年」

◇第19回

うんの のりこ
海野 典子 (2017年博士(学術)・東京大学)

「新月と満月の下で：北京のイスラムの矛盾と一貫性 1906-1913」

おかべ まさよし
岡部 正義 (2019年博士(国際貢献)・東京大学)

「フィリピンにおける教育開発分野の「逆向きジェンダー格差」に関する経済分析」

【佳作】

うえの まなみ
上野 愛実 (2020年博士(学術)・東京大学)

「トルコ共和国における宗教教育政策(1940年代～1970年代)：宗教教育の再開から必修化まで」

さくらだ ちえ
櫻田 智恵 (2020年博士(地域研究)・京都大学)

「『国王神話』の形成過程—タイ国王の行幸と『陛下の映画』の役割—」

◇第20回

おかだ みほ
岡田 美保 (2021年博士(安全保障学)・独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)

「日ソ国交回復交渉の再検討—ヤルタ合意と二つの対日交渉方針—」

【佳作】

う かいしゅん
于 海春 (2021年博士(ジャーナリズム)・早稲田大学)

「中国の権威主義体制下におけるメディア統制の重層性—現代中国におけるローカルメディアとメディアシステムの比較分析を通じて—」

ながおか けい
長岡 慶 (2019年博士(地域研究)・京都大学)

「現代ヒマラヤ世界におけるチベット医学の制度化と病気治療—インド北東部タワンの暮らしと病いの民族誌—」

なんば せいとろう
南波 聖太郎 (2020年博士(学術)・東京外国語大学)

「ラオスにおける社会主義と中立主義の相克：デタント期社会主義陣営の最辺境における解放区の多元的展開(1945-1975)」

◇第21回

おおたに とおる
大谷 亨 (2022 年博士 (学術) ・東北大学)

「無常鬼の研究—〈精怪〉から〈神〉への軌跡—」

ら あ じ や ぶ ん
拉 加 本 (2022 年博士 (学術) ・総合研究大学院大学)

「チベット・アムド地域における村落社会と信仰生活の変容に関する人類学的研究——中国青海省海南チベット族自治州貴南県ボンコル村の事例から」

【佳作】

おう らく
王 楽 (2021 年博士 (学際情報学) ・東京大学)

「満洲国農村部における宣撫宣伝活動のメディア史」